

山江村議会だより

Maruoka

No.88

こんにちは あかちゃん



新年度(令和5年度)予算決まる!

写真の説明

ひがし わこ

東 羽恋ちゃん

令和4年11月29日生

パパのことが大好き♡
これからも沢山遊んでね!

目次

- | | |
|---------------|-------|
| ○令和5年度当初予算内訳 | P2~3 |
| ○一般質問 | P4~10 |
| ○議会定例会・臨時会 | P11 |
| ○編集後記「だんだんなあ」 | P12 |

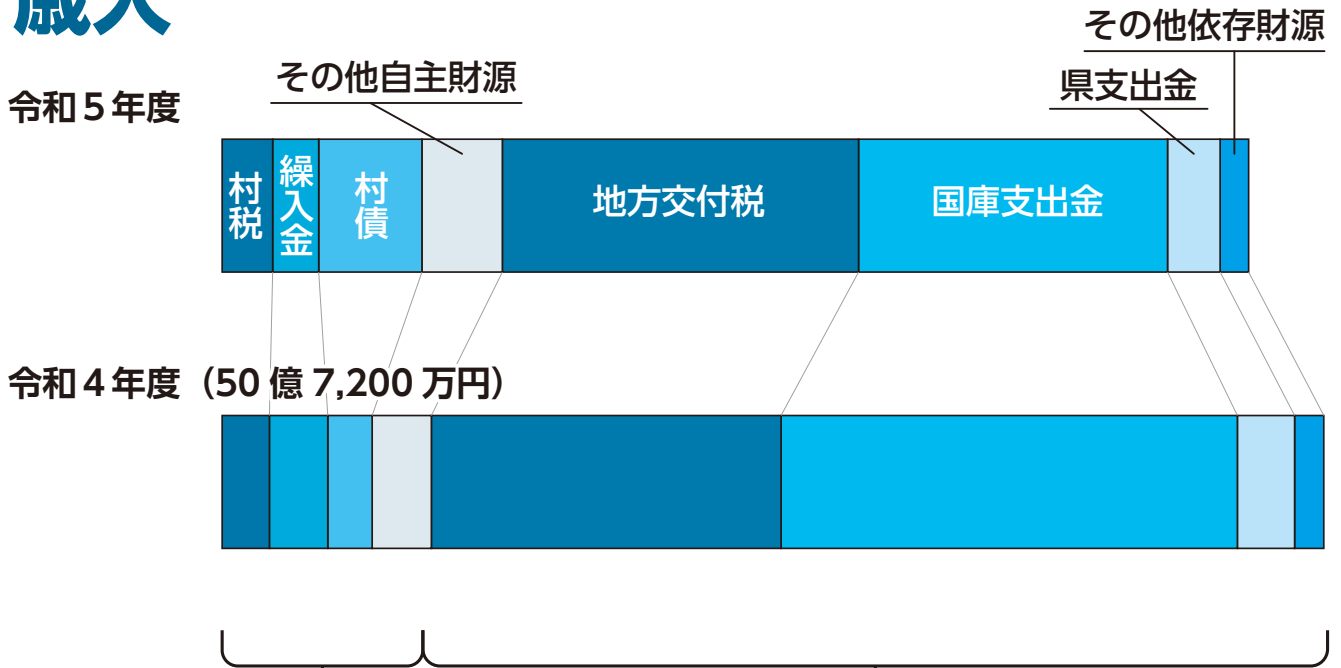
令和5年4月28日発行 発行:山江村議会 編集:広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

【特集】令和5年度一般会計予算

47億2,600万円

歳入



自主財源

令和5年度 12億9,005万9千円(全体の27%)
 令和4年度 9億6,327万3千円(全体の19%)

依存財源

令和5年度 34億3,594万1千円(全体の73%)
 令和4年度 41億872万7千円(全体の81%)

(単位：千円)

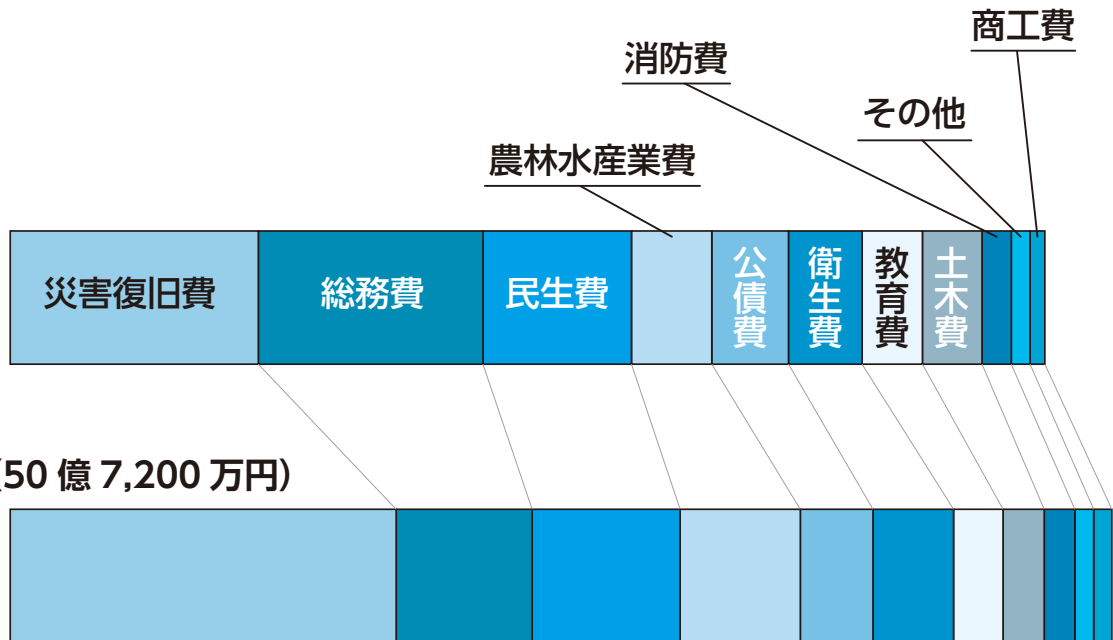
	名称	予算額	内容
自主財源	村税	2億3,249万5千円	村民税や固定資産税など村民の皆様が納める税金
	繰入金	2億1,205万3千円	基金(村の貯金)を取崩して事業に充てるお金
	村債	4億7,530万円	大きな事業を実施するために国などから借りるお金
	その他自主財源	3億7,021万1千円	使用料や手数料など
依存財源	地方交付税	16億4,000万円	全国的に一定水準の行政サービスを保つため国から交付されるお金
	国庫支出金	14億2,263万3千円	国からの補助金など
	県支出金	2億4,209万3千円	県からの補助金など
	その他依存財源	1億3,121万5千円	地方消費税交付金や地方譲与税など

5年度の一般会計予算は、歳入歳出の総額がそれぞれ47億2,600万円で前年度と比較して3億4,600万円、6.8%の減です。災害復旧費が減少したとはいえ、依然割合では上位を占めています。復旧復興への早期な対応が求められる中、村民の皆様の生活を守るための各種予算が編成されています。

歳出

令和5年度

令和4年度 (50億7,200万円)



(単位：千円)

項目	内容	令和5年度予算額
災害復旧費	災害箇所の復旧などにかかるお金	11億3,321万4千円
民生費	高齢者や障がい者、子どもの福祉対策などにかかるお金	6億7,836万2千円
総務費	庁舎や職員給与、ふるさと応援寄付金謝礼などにかかるお金	10億2,613万9千円
農林水産業費	農業や林業、畜産などの振興にかかるお金	3億6,688万6千円
衛生費	検診や予防接種、ごみ処理などにかかるお金	3億3,610万7千円
公債費	村債で借りたお金の返済など	3億5,036万2千円
教育費	学校教育や生涯学習、スポーツ振興などにかかるお金	2億7,571万5千円
土木費	道路や河川の維持、整備などにかかるお金	2億7,218万6千円
消防費	消防団や広域消防、災害対策などにかかるお金	1億3,366万1千円
商工費	商工業や観光業などの振興にかかるお金	11億3,321万4千円
その他	議会にかかるお金や予備費	11億3,321万4千円



秋丸 安弘 議員



農業施策・農業振興

問

2022年度農業物価指数、2020年を100とした場合、生産資材の価格は116.6となっており、飼料は前年より19.4%上がって138、肥料は高度化成は52.4%、168.9、燃料価格は高騰が続き、灯油4.7%136.1、軽油1.6%125.4、農用電力も9.2%112.6、様々な資材価格が上がっている一方、農産物価格の指数は前年を0.6上回る101.4と小幅な上昇、最も減少幅が大きかったのが、米で9.7%下がり80となっている。資材の高騰、燃料費の高騰は続いており、昨年同様、農業支援・生活支援をすることを考えはないか。



答 村長

農業のみならず生活のものを苦しめており、価格高騰問題であり、農家のみならず、村民の生活支援も併せて検討しなくてはいいかと思っている。

問

農水省は堆肥や下水道汚泥などを国内肥料の資源活用法の拡大に向けた全国推進協議会が設立され、輸入肥料が高騰する中、原料供給する肥料の製造、利用まで資源活用する輪を広げる。山江村も汚泥が年間11万7,464キログラム生産されているが、堆肥と汚泥を混合し利用する考えは。

答 村長

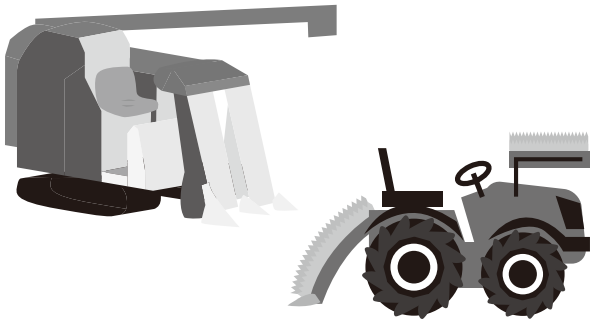
循環型農業にとって良いことであり、今後検討させていただきます。

問

農作業の安全対策、農作業の発生事故はトラクター、乗用運搬車、コンバイン、動力防除機、刈払い機の順になっている。高齢化が進む中、事故も増加傾向にある。農機全体の安全対策講習会を指導する考えはないか。

答 産業振興課長

各種団体に聞き、そのようにやってくれということであれば検討したい。



問

農作業の標準賃金、物価高騰の中、請け手の方は企業努力により、現賃金努力されている現状。乾燥、糶摺り等について標準賃金は決まっている。請け手、頼み手の方から相談があり、標準賃金を一定にしてほしいと意見がある。

答 産業振興課長

認定農業者、農業委員会の方を中心に話し合い作業の受委託についても定期的に会合をしていく予定で、山江村の案を示していただければと思う。





横谷 巡 議員

畜産（酪農）と稲作等の 新たな経営持続対策について



**畜産（酪農）農家
に対する長期化を
見据えた支援は**

問

餌代や資材高騰が経営を直撃し、この状態が続けば経営は限界に達し、廃業の危機にある。長期化を見据えた農家支援をする考えはないか。



飼料高騰で経営危機の酪農家（熊日新聞記事）

答 産業振興課長

農業、畜産等あらゆる分野での物価高騰は、生活に大きな打撃を与えていることを認識し、酪農、畜産経

営農家に、経営継続支援金として、総額六百六拾二万円を支援させていただいている。

問

特に酪農生乳の廃棄をテレビ報道で見たが、有効な活用対策はないものか、国の考えに疑問を感じたものである。今後国、県の動向も見ながら、農家等へ特化した補助金制度の創設を頭に入れながら対応を考えてみたい。

**稲作等水田耕作の
新たな経営戦略の
考えは**

問

農業経営は、担い手不足等から危機的な状況にあり、これから先の農業を見据えた対応をどのように考えているか。

答 産業振興課長

農業現場の担い手不足は、確かに深刻な状況下にある。認定農業者、農業委員、若手農業者等の会合で、作業受託の法人化や外

国人労働者の斡旋、また、お互いの農業機械の貸し借りなどの意見があり、今後の農業振興に参考にしたい。機械の購入については、ドローン操縦含めた対応、組織的な作業受託、農地の集積化を図りながら農業の振興を図っていきたい。



担い手不足、これからの農業経営は？

**豪雨災害を
顧みでの防災体制、
危機管理体制は**

問

災害発生時の初動措置及び緊急対応体制の確立状況について伺う。

答 総務課長

まずは、災害警戒対策の本部の設置、災害発生の際がある時は、災害対策本部の設置、災害が発生したら、安否確認等の情報収集、災害対策本部組織編成に沿った体制になる。

問

地域防災力の強化と防災意識の向上対策について伺う。

答 総務課長

防災マップの活用による地域防災力の強化、防災意識向上については、防災講習会の開催や消防団等と連携した避難訓練の実施で、意識の向上を図る。



※他に「学校教育の内容充実について」質した。



西 孝恒 議員



・令和2年7月豪雨災害からの
復旧復興進捗状況は！
・山江中学校の部活動について

問

令和2年7月豪雨災害から間もなく3年近くになる現在の、進捗率や状況について。

答 総務課長

令和5年3月1日現在の進捗状況は、河川は件数8件に対し発注6件の75%竣工も同じ、橋梁は件数5件、発注4件の80%、竣工は1件。道路は件数68件、発注59件の86%、竣工は52件の76%、合計は件数で85%、竣工は72%。合計金額ベースで31%にとどまっている要因は橋梁架け替え工事や大規模な道路の被災箇所では1カ所当りの金額も大きく竣工まで複数年要することや、山間部の道路河川に関しても県工事との調整等工期の延長が必要となったこと等ある。

答 産業振興課長

農地農業施設の災害本数は31本完了が22本で71%、金額ベースでは42%

である。完了していない主な箇所の理由としては、万江川の護岸工事や県道の災害復旧の進捗により発注する箇所が複数ある。

問

建設型応急仮設住宅入居者の今後の支援について。

答 健康福祉課長

共用期限の延長はあるが、インフラや県道等の復旧待ちによる長期避難世帯もあられるので県を通じて延長許可の取得について手続きを進めたい。また仮設住宅を退去される皆さんには交付金等様々な補助や支援があるが、申請が必要で期限もあるので漏れがないように案内している。また日常生活の困りごとや今後への相談対応も行っている。

問

休日の中学校部活動に関わる体制見直し令和5年度以降7年度まで段階的に地域移行されることについて見解や方針は。

答 教育課長

その背景には少子化による生徒数減少や教員の働き方改革など考えられる。国県の方針に基づき本村に於いても地域総合型スポーツクラブによる活動へ移行したいと考えていて検討委員会を立ちあげる予定である。

問

現在の山江中部活動の種目と加入率について。

答 教育課長

種目は野球、ソフトボール、陸上競技、卓球、バレーボールの5種目。加入率は令和4年度が111名、86%である。

問

山江村文化協会と地域総合型スポーツクラブ「わいわいクリスポやまえ」との統合についての理由のひとつに山江中の部活にも文化部の部活動がほしいとの事であるが、その点について見解を。

答 教育課長

現時点ではその要望はないが、文化部の創設については両団体の動向を確認しながらまた、検討委員会を立ち上げる予定であり委員の意見を参考にして行きたい。





赤坂 修 議員

・「わいわいクリスポやまえ」への支援は？ ・ゼロカーボンシティに向けての取り組みは



問

小学校部活動は社会体育移行後5年経過したが、クラブ数・児童生徒の加入状況は。

答 教育課長

平成30年度クラブ数9クラブから令和4年度では3クラブの増加、児童生徒数は平成30年度から36名増えている。

問

助成金は平成30年度から増額されていないが増額の考えはないか、また、子育て支援の面から会費、部費の助成の考えはないか。



答 教育課長

助成金の増額については、クリスポやまへの予算書を見てみると助成金を超える繰越金があるため今のところ考えていない。会費部費に対する助成についても村外のクラブを見てみても安いほうだと考えているが、要望があれば検討する必要があると考えている。

問

スケートボードについてクリスポやまへのクラブに採用されるのか、また、支援の考えは。

答 教育課長

令和5年度から新種目として採用し会員の募集をしている。支援については全クラブバランスよく支援をしていく。



問

「第2次山江村地球温暖化対策実行計画書」の取り組み状況は。

答 健康福祉課長

平成25年度基準年度に対して15%削減目標としているが令和3年度実績で30・5%削減されている。

問

山江村ゼロカーボンシティ宣言」では、2050年度目標とされているが2030年度目標設定の考えは。

答 企画調整課長

現在具体的な数値は設定していないが総合エネルギー検討委員会に意見を聞き設定していきたい。

問

二酸化炭素排出量ゼロの目標達成については農業者、建設業、製造業など村

民全員と行政が一体となって推進しないと目標達成は不可能である。そのためには各年度の目標値を設定し山江広報・ケーブルテレビ等を通じて情報を知らせることが最も大事だと考えるが。

答 企画調整課長

具体的な目標を設定し策を練っていくことが当然必要だと考えているので検討していきたい。

問

電力の地産地消とあるが積極的な取り組みを期待しているが。

答 村長

段階的な取り組みとして公共施設への導入から検討していきたい。事業主体が役場というわけにはいかなので適当な事業者があられたら方向性を持つていく。山江村が事業を進めたら人吉球磨中に広がっていくと考えている。



立道 徹 議員



・旧城内団地の跡地について
・新型コロナ対策について

問 団地解体後の利活用は。

答 総務課長

現在のところ、具体的な活用策はない。しかし、民間からこの土地にアパートを建設したいという話がある。企画書、計画書の提出を依頼している。提出の内容を精査する。本村にとって、活性化を図る上で最善の活用の方法を検討していく。



解体前

問 新城内団地への風の当たりがとても強いので風よけ

になるものと団地があった時には外灯があったが、今後の考えは。

答 総務課長

1月の寒波により、瓦が飛んだ被害はあり、修理をしたことはあるが、現時点では、風よけ等の要望はないが、引き続き状況を確認していく。外灯については、この土地をどのように活用していくか検討中で、利活用の方法が決まったら、検討していく。



解体完了

問 民間からの話があるという事であるが、定住化促

進の意味でも良いと思うが、どのように考えているのか。

答 村長

今後、そのような動きがあれば、所定の手続きを取りながら、皆様におつなぎしていきたい。

問

新型コロナ対策について、現在は、2類。5月8日より季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げると国は決めました。どのように変化するのか。

答 健康福祉課長

住民の皆様の自己管理・自己防衛にお任せすることが基本になってくる。医療費負担は、現在、全額公費負担であるが、5類移行は、自己負担になると予想されるが、急激な負担増が生じないよう、一定の公費支援を設ける方向で検討されている。

問 職員のマスク着用については。

答 村長

自分の間は、執務中はマスク着用でお願いしている。

問

小中学校では。

答 教育長

卒業式においては、感染拡大の観点から、国歌斉唱の際は、マスク着用。来賓・保護者はマスク着用。生徒・職員については外すことを基本とするが、健康上や受験の関係もあるもので、地域や学校の状況を踏まえ適切に判断するという通知がきている。5月8日以降の対応については、文部科学省及び県教育委員会、村との協議をしていきながら、対応していく。

※他に「物価高騰に対しての対策について」質した。





中村 龍喜 議員



災害復旧について

村道岩ヶ野下払線の復旧について

問

復旧計画について、現在のようになっているのか伺う。

答 建設課長

村道岩ヶ野下払線の災害復旧工事については、熊本県が実施する治山工事と村が実施する村道の災害復旧工事が必要となる箇所です。令和4年5月に熊本県と山江村合同で地元説明を行っており、県の治山工事については、計画通り施行され、令和5年2月16日に熊本県の完成検査が実施されている。引き続き、村の道路災害復旧工事への着手を当初計画しておりましたが、県の治山工事が進む中で、復旧工事に必要となる用地測量が同時にできなかった。県の治山工事が進んだ令和4年12月から令和5年2月上旬にかけて用地測量を実施して、現在地権

者に用地相談を進めており、用地売買に向けた競技や登記事務をしながら令和5年4月の入札に向けて調整している。

林道、作業道の復旧状況について

問

復旧について最終的には何年度ぐらいで終わるのか伺う。

答 産業振興課長

林道作業道の入札については、令和4年度中にも入札の準備を行い、路線はそれぞれ申しませんが、一つの路線で一年間のあいだに3回の不調不発が発生した路線もあった。入札が仮に順調に進めば、ほとんどの林道については令和5年度中に発注できると思う。短期間で終わるもの、もしくは一年間ぐらいかかるものもある。令和5年度から令和6年度には終わっていくものだと思う。しかし林道今村線につ

いては、県道・村道の復旧状況の見込みから推察すると、令和7年度以降の発注になるのではないかと思っ

に終わると思う。作業道については、民有林の作業道もあり詳細の復旧時期は見込めない。村有林にかかる作業道については簡易的な方法で復旧していきたい。



村道岩ヶ野下払線災害現場



森田 俊介 議員



令和2年7月豪雨災害や 昨年の台風14号などの、 災害復旧復興の 進捗状況について

問 県道坂本人吉線、淡島付近の参道橋の復旧状況について。

答 建設課長 河川、護岸約350mの復旧を施工中、淡島裏参道橋の災害復旧については、県へ委託し災害復旧を進めている。令和5年度中の完成を目指している。

問 現在の淡島公衆トイレは移設等変更されるのか。

答 建設課長 熊本県と協議を行っている。

問 濁毛、平山地区の多様化の変更や農地除外の考えは。

答 産業振興課長 農地除外は、現時点では考えていない。

問 今村線、合子俣線や水無坂本の復旧工事はいつ頃か。

答 建設課長 令和4年9月台風14号な

どで、復旧箇所が再被災した。令和5年1月から、村発注工事を再開し、3箇所工事の計画的に発注を行っていく。

問 大川内地区の水道の復旧はどのように。

答 建設課長 令和5年1月下旬に通水、水質検査を実施、最終調整を行っている。

問 ゲストハウス、ほたるの荘、一時的に工事関係者の宿泊はできないものか。

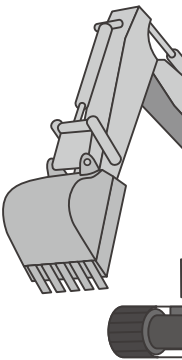
答 産業振興課長 状況に応じて検討する。

問 森林整備と環境保全を促進する、林業塾を開講されたが、自伐採型ができる担い手の把握状況は。

答 産業振興課長 自伐採林業ができる方は状況把握はしていない。

問 自伐採林業に推進するのが鎮山親水であるのか。

答 産業振興課長 自伐型林業については森林の経営、管理伐採を自分らで行う小規模林業事業者、大規模な伐採を行う、自伐型林業の推進に反比例するものと考える。



問 私有林、会社所有の山林の伐採については県の許可が必要とのこと。保有林を伐採終了後には、1年以内に新植林にしなければならぬ。県、行政の指導は。

答 産業振興課長 箇所が多く予定年度に間に合っていない。パトロールや相談指導をしていく。

問 現場については承知している。

答 産業振興課長 現場については承知している。

問 下流には、簡易貯水槽や高速道路があり、山腹滑落の心配される。

答 産業振興課長 届出書類に沿って決裁処理を行っていく。村有林については令和5年以降全伐採は行わない方針である。

問 森林環境譲与税の今後の目的は。

答 産業振興課長 鎮山親水林業塾にも活用し林業振興を進めていく。

問 万江地区に砂防ダムの設置計画されている状況は。

答 村長 この計画は、10年間で58億円である。議員、村民の万江地区の方々に説明を進めていく。

令和5年第1回 山江村議会臨時会

令和5年第1回山江村議会臨時会が1月13日に開催され、令和4年度一般会計補正予算（第8号）が可決されました。主な内容は、物価高騰支援に伴う一人当たり1万円の給付金等でした。

令和5年第2回 山江村議会定例会

令和5年3月7日から14日までの8日間、令和5年第2回山江村議会定例会が開催され、報告2件、条例の制定及び改正が7件、補正予算6件が可決されました。質疑については以下のとおりです。

◆山江村学校給食費の管理に関する条例の制定について

質 疑

赤坂議員

○公会計化に伴う変化、保護者の影響は？

答 弁

教育課長

事務処理の方法を変えるもので、複雑な事務の軽減につながる。保護者の影響はない。

令和5年度山江村一般会計予算

質 疑

久保山議員

1. 住まいの安全確保支援事業補助金について
2. 急傾斜地等崩壊対策工事の進捗状況は？
3. 村道新設改良工事について

答 弁

健康福祉課長

1. 令和2年7月豪雨の罹災証明がある被災者の移転再建事業等の補助で上限300万。

建設課長

2. 下城子地区の工事で現在設計段階、梅雨明けの発注予定。
3. 橋梁2橋の補修と井手の口県道線等の工事。

本田議員

各小中学校費の消耗品の内訳は？
昨年度より増加している。

建設課長

今年度から各小中学校の女子トイレに生理用品の設置をするため、昨年度より消耗品費の増加となっている。

西議員

1. 健康訪問支援業務委託料
2. 消防施設設備工事

健康福祉課長

1. 高齢者の健康づくりの取り組みの一環として、一体的に支援する事業

総務課長

2. 地上式消火栓の設置工事

森田議員

地域おこし協力隊の用途

企画調整課長

プロジェクトチームを編成し、栗を中心とした商品開発・流通システムの構築等

横谷議員

1. 地域おこし協力隊の人材採用
2. 山江村虐待防止等対策地域協議会の内容

村長

1. 現在応募されている中から、山江村の活性化の趣旨にあった人をしっかり選んでいく。

健康福祉課長

2. 村内や地域内広く起きた事例を持ち寄り、共有し対応を検討する協議会

令和5年第3回 山江村議会臨時会

令和5年第3回山江村議会臨時会が3月30日に開催され、令和4年度一般会計及び特別会計補正予算4件が可決されました。

議員活動の一コマ



令和4年度下球磨町村議会正副議長会及び 球磨郡町村議会議長会合同研修会

令和5年2月17日、下球磨町村議会正副議長会及び球磨郡町村議会議長会合同研修会が山江村体育館で開催され、町村議員や町村長、執行部など129名が参加をし、開催されました。講師に熊本大学法学部の伊藤教授を迎え「一般質問とは何か」の演題で講演をしていただきました。基本的な部分でもあり、今後の議員活動に役立てたいと思います。



だんだんなあ

災害は、いつくるかわからない。トルコ・シリア大地震はやがて3か月を迎えようとするが、死者5万2千人との報道もある。
日本でも東日本大震災、熊本地震や私たちの身近なところでは令和2年の大水害があり、現在もその災害復旧が行われている。いつくるか分からない自然災害に対し、どのような防災対策が必要なのか。トルコ・シリアの被災地を報道等で見ると、大きな建物がいても簡単に崩れている。建築基準を無視した手抜き工事が原因とも報道されている。見た目よりも中身のしっかりしたものが何事も大事だと思う。地球環境の変化でいろいろな災害があるが、日頃の防災への備えを考えてみてはと思う。

(文責 中村 龍喜)

【山江村議会広報編集特別委員会】

委員長／赤坂 修

委員／久保山 直巳

中村 龍喜